Oil Spill Response

石油産業の油流出対応

PAJ Workshop 2009
David Salt
Southampton UK

油流出・・・

- 油流出は我々の力が及ばないところで発生する。
- 油流出の影響を理解し、適切な対応計画を策定しておく必要がある。
- 油流出に対する準備が必要である。
- Oil Spill Response Limitedは国際石油産業の油流出対応体制に不可欠な存在である。

Oil Spill Response ©

Oil Spill Responseは会員のために何をするのか?

- 会員に対応・準備サービスを提供する。
- 対応を支援するための専門技術と資機材を提供する。
- 特殊な対応資機材を提供する。

Oil Spill Response ©

OSRLはどのように対応するか?

- 会員または非会員によって動員される
- 高度な準備体制
  - 技術アドバイザー
  - 対応チーム
  - 動員システム
  - 予め梱包された資機材
  - 航空輸送の手配
  - 通関
  - 対応管理システム/専門技術

Oil Spill Response ©

Response Services

5

専門技術

- 経験豊富なスタッフ
- 能力本位の人材開発
- 多様な要員と広範な専門分野
- 専門家としての対応技能
- 緊急時対応管理システム
- ICM体制の任務を遂行する要員ーオペレーション、計画策定、後方支援

Oil Spill Response ©

Response Services

6

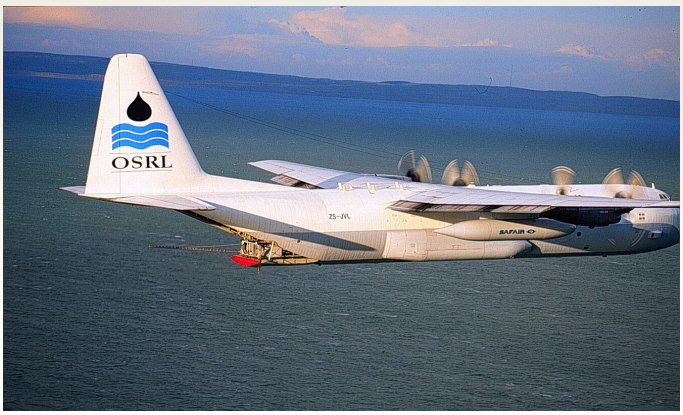
対応資機材

- 陸上・海上のあらゆる対応シナリオをカバーする資機材
- 広範な油種と気象条件に対応
- コンピュータ化された保守データベースにより、通関書類を必要に応じて迅速に作成
- 高度な準備体制

Oil Spill Response ©

Response Services

特殊対応機材



空中散布機は重要な対応ツールである

Oil Spill Response ©

7

Response Services

準　備

以下の要素が不可欠である:

- 訓練された要員が—
- 綿密に練られた緊急時対応計画に基づいて行動し—
- 対応資機材が充分に備わっていて—
- 定期的に訓練が行われる。

Oil Spill Response ©

8

うまく行かない原因は何か?

- 問題の重大性の認識不足
- 資機材の使用を可能にするプロセスが整っていない
- 資機材が一貫した対応計画と一体化されていない
- 果敢な行動の欠如

Oil Spill Response ©

油流出の費用は増大している
段階3はもはや基準にはならない

事故名	年	流出量	総費用 $	費用 $/ トン
コスコ・ブサン(米)	2007	83	80,000,000	**$963,855**
プレスティージ(スペイン)	2002	63,000	1,443,000,000	**$22,904**
エリカ(仏)	1999	19,800	247,500,000	**$12,500**
シー・エンプレス(英)	1996	73,000	55,200,000	**$756**
ブレア(英)	1993	84,000	78,000,000	**$928**
エクソン・バルディーズ(米)	1989	37,000	1,950,000,000	**$52,702**
アモコ・カディズ(仏)	1978	223,000	225,000,000	**$1,009**

出典: ITOPF

Oil Spill Response ©

世界は変わった

- 石油産業構造は変化した
  - 企業主導から事業部門主導へ
  - 地域顧客
- タンカー油流出事故の減少
  - 法規/規制の改善
- 付加価値のあるサービスを提供するには顧客の近くに居ることが必要
  - 地域センター/事務所

Oil Spill Response ©

事例研究 1 :ヘベイ・スピリット号

- タンカー事故
- 10,300 トンの油が流出
- 厳しい気象状況のため流出油が広範囲に拡散
- 数日後にADDSパックを要請
- 対応効果が減少した

Oil Spill Response ©

事例研究 2 :パシフィック・アライアンス号

- パシフィック・アライアンス号：衝突後、マレーシア海域で座礁
- 船体に甚大な損傷
- サルベージ作業
  - 艀による運搬
  - 離礁
  - 荷降ろし
- 高度な事前準備
- 油流出なし

Oil Spill Response ©

ありがとうございました。

www.oilspillresponse.com

Oil Spill Response ©